

師走に入り、今年も残りわずかとなりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。振り返りますと、今年の7月20日に本同窓会ホームページを開設し、44年ぶりに会報誌「桜朶」を復刊させていただきました。これもひとえに会員の皆様方の母校愛の賜物と心より感謝申し上げます。

お盆明け以降、会員のみなさまか

ら多くの励ましのお言葉を頂戴いたしております。今日はその一部を紹介させていただき、2010年を締めくくりたいと思います。

会員の皆様にとりまして、来年もすばらしい発展の年となることをご祈念申し上げます。

どうぞよいお年をお迎えください…。

(事務局一同)



## 「幻の桜朶復刊」によせて



『日本大学東北高等学校同窓会』事務局の皆様、および学校長松本 幹雄様、会長 柳沼 正人様、本当にご苦労様で御座います。

桜朶復刊により、久々にわが母校の行事や情報等々を知ることが出来、一時、老(ワレ)を忘れて童心に返り拝読させて頂きました。気がつくとも喜びの余り目には薄らとうれし涙まで流れていました。急ぎ懐かしのアルバム等を出し、通学路の阿武隈川の板張りの橋、アカシヤ林道、また学友、先生の顔々、初代生徒会会長を選ぶ慣れない選挙演説など、一瞬当時の思いが頭を過りました。

最近考えてもいなかった56年前の思いに更け、今一度あの昭和28年(創立以来初めて1~3年まで揃った年)時代に戻れたらと、懐かしく思う一日でした。ありがとう。

同窓会の皆様の今後の益々の発展を御祈り申し上げます。本当に有難う御座いました。お元気で。又、あした。

(昭和30年3月卒業生 電気科第2期生 佐久間博視)